

令和6年度入学試験問題（前期日程）

小 論 文

人文社会学部 人間社会学科

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150 分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

以下の文章は、山口裕之、『「みんな違ってみんないい」のか？ 相対主義と普遍主義の問題』からの抜粋である。この文章を読み、次の問に答えなさい。

問 この文章で、筆者はどのようなことを主張しているか。その論旨を示した上で、その主張に対するあなた自身の意見を、何らかの具体的な事象を取り上げながら、1,000字以上、1,200字以内で述べなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

(山口裕之, 『「みんな違ってみんないい」のか? 相対主義と普遍主義の問題』, 筑摩書房, 2022 年, 3~10 ページ, 抜粋・一部改変)

令和6年度入学試験問題（前期日程）

小論文

人文社会学部 人間社会学科

出題の意図

人間は常に、意識しているか否かにかかわらず、何らかの価値観に基づいてものごとを正しい／正しくないと判断しながらふるまっている。そして、各々の判断を互いに折り合わせながら、社会を成り立たせている。本出題において使用されている文章は、こうした価値判断と集合的意思決定をめぐる、「相対主義」及び「普遍主義」という考え方を検討しつつ筆者自身の見解を主張する著書の導入部分から抜粋したものである。

本出題は、受験生に、上記のような人間及び社会の営みの根本的な問題を取り上げた文章を読解させつつ、この問題について考察し論述させることによって、本学科のアドミッション・ポリシーに示された、多面的な観点から物事を考察し自分なりの意見をまとめる姿勢を問うとともに、思考力・判断力・表現力をみようとすることである。